

今に至る先生のエピソードを教えてください

子どもの頃から続けていたのは空手。高校はいわゆる地元の進学校へ。入学後すぐに、校歌・応援歌練習が1週間ほどあり、全曲完璧に歌えないと正座、、、《歴史の長い、パンカラな高校(笑)》3年の学園祭では実行委員長に選ばれました。部活も勉強も熱心にやったという記憶はなく、ワチャワチャした高校時代だった気がします。

しかし、今に続く物理や宇宙は、この頃から漠然とやりたいと思っていました。ビリヤードは、物理や宇宙により興味をもったキーワードの一つですね。ある時、友達に誘われてやってみました。初めは適当にやっていて全くダメなのですが、ボールの狙い方を教わると、高校の物理でも学ぶ「二体問題」の90度分離がラシャの上できれいに成り立つことを知

りました。とても美しいスポーツだと思い、物理やビリヤードにのめりこんだことを覚えています。その後、大学でもビリヤードサークルに所属し、プロやアマチュア日本一になった仲間と切磋琢磨しながらの大学生活でした。そんな中、博士課程進学を決意したのは学部の卒業式。厳格な雰囲気の中で、角帽・ガウンを着た教授陣と博士課程を終えた先輩たちが一緒に歩いて登場しました。また博士修了者は、ひとりひとり壇上で証書をもっていました。ところが、4年生の自分は座って話を聞いて終了。座ってるだけは嫌だと勝手に闘志を燃やし、自分も博士課程を修了して壇上に上がることを決意しました。《まだ若く、ホントに生意気》

博士課程では、多くの先生方にご指導頂きながら宇宙構造物工学の研究を行い、前職の室蘭工業大学でも宇宙構造物工学の教育・研究に従事。その後、香川大学に着任しました。

※編集部注：《》は先生のつぶやき

造形・メディアデザインコース

時を忘れ、仲間と知を極める挑戦空間

研究室は、さまざまな思い、考え方をを持った仲間が集い、時間を忘れて一つのことに打ち込むことができる場、教員や学生の垣根なく、平等に議論し合える場、純粋に研究に向き合うことができる場、仲間といろいろな話をしながら時には人生観も変えてくれる場、例えるなら、ドラゴンボールで修行に使われる「精神と時の部屋」。それが研究室。

造形・メディアデザインコース 准教授

勝又 暢久

かつまたのぶひさ
2002/4~2006/3(4年間)
早稲田大学理工学部機械工学科
2006/4~2008/3(2年間)
早稲田大学大学院理工学研究科機械工学専攻
2008/4~2011/3(3年間)
早稲田大学大学院創造理工学研究科総合機械工学専攻
2009/4~2010/3(1年間)
早稲田大学理工学術院(創造理工学研究科)研究助手
2010/4~2013/3(3年間)
早稲田大学理工学術院(創造理工学研究科)助手
2013/4~2020/3(7年間)
室蘭工業大学大学院工学研究科も創造系領域助教
2020/4~
香川大学へ



教員紹介



研究室紹介

宇宙で使用される収納・展開技術

「造形・メディアデザインコース」と「宇宙工学」、関係性が薄く、親和性がないように感じるかもしれません。しかし、人工衛星や航空機開発で必須となる軽量構造の考え方や知識は、日常の多くのモノづくりに応用できます。また、日本の伝統工芸である「折り紙」の考え方や技術は、ロケットに小さく収納して輸送し、宇宙空間で展開して使用する大型展開アンテナの研究・開発に応用されています。つまり、視点や応用方法を変えてあげると、いろいろなどところで関連性が見えてくると思います。



キャスコ株式会社さん(香川県さぬき市)と共同研究で生まれたゴルフクラブ「VATIC venero」

折り紙の話をもう一つ。新 ORIGAMI-Carbon Soleを採用した新ドライバーが、2025年9月にVATIC GOLF(パティックゴルフ)より発売されました。折り紙工学を応用したソールの凸凹形状をデザイン。ボールのインパクト時に、クラブヘッドが2方向に同期的に変形(この変形に折り目形状が関係)し、クラブヘッド全体で反発エネルギーを生み出し、強い弾きで、ボール初速度がアップします。

